

11月の納税	4期	人口と世帯
1. 固定資産税	4期	世帯数
2. 国民健康保険税	5期	男
		女
		計

群馬県甘藷郡甘藷町
大字小幡甲852
甘藷町役場
電話(小幡)4番・44番・49番
編集 総務財政課 企画文書係
印刷所 坂本印刷株式会社

位置、12月20日までに決定

議員協議会で申し合う

十月十六日に開かれた町議会議員の協議会で、新庁舎の建築場所は十二月二十日までに決定しよう、四十一年度には着工する計画です。と、とうとう申し合わせができました。

新庁舎の建築問題

新庁舎の場所として、現在では中央公民館付近と鎌倉街道の四角の南側付近の二か所が候補地としてあげられていますが、十二月二十日までに、この二か所のうちいずれか一方が敷地として決定する。

優勝は小幡地区(連続)

大成を得た体育祭

さわやかな秋晴れにめぐまれた第七回町民体育祭は、十月十日、小幡小学校校庭に多数の人たちをあげて、にぎやかに開催されました。その結果、対抗競技では小幡地区が二七一点をあげ三年連続優勝をなしました。二位は秋畑(一九九・五)、三位は新屋(一六七・七)、四位は福島(一三一・五)、五位は役場(七〇・〇)の順でした。



町をつくる。この目的をよく

六箇所に稚蚕共同飼育所

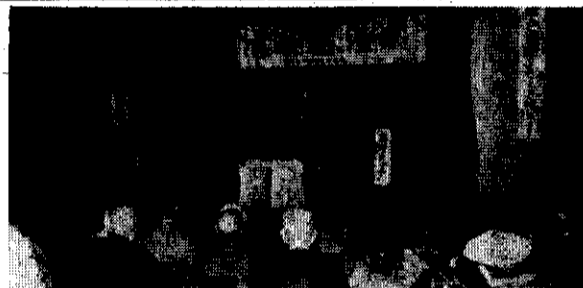
農業構造改善事業で

農業構造改善事業の実施年度の初年度のことし、次の六箇所に稚蚕共同飼育所が建設されます。これは、同計画の養蚕経営近代化施設の一環として建設されるもので、国から五割の補助、地元組合が五割(うち八〇パーセントは公庫資金を借入)などの割合で費用分担されて行なわれます。この地区の事業費と、この地区の稚蚕共同飼育所と入札された稚蚕共同飼育所

中央公民館で敬老会

398人(75才以上)を招待

十月十六日に中央公民館で敬老会が開かれました。町の社会福祉協議会が主催したもので、七十五才以上のおとしより三百九十八人がお招きをうけました。



この日はおとしよりをバスでお迎えし、町長や各代表者からはお祝いのご挨拶や、長寿を祝うことがおこなわれ、手品などを観賞して、楽しい一日をすごしてもらいました。おとしよりは、私たちの町や、生活をよりよいものにし、私たちがみな、しあわせに暮らせる社会をつくるために

農業委員人名簿

12月1日現在で調整

昭和四十年十二月一日現在で、町の農業委員会委員選挙人名簿が調整されます。この名簿に登録するための申請書は、農業委員を通じて農事組合長から各農家に配付されていますが、次の事項に注意して期日(十二月五日)までに農業委員会に提出してください。この申請書は、一反歩以上の耕作業務を営む方で、昭和四十一年三月五日において、満二十才に達した者上耕作の業務に従事している者。

「愛のひとこえ運動」で青少年健全育成を

はげしく変わる社会のようすは、「家庭や社会」に多きな影響を与えており、次代にならぬ青少年の育成上、好ましくない状況にあります。そこで、県内の民間四十団体加盟して組織されている「群馬県青少年健全育成県民会議」では、次の三点について県民運動を展開してあります。○全県民の成人を対象に「愛のひとこえ運動」を展開しよう。○おとなから、まずひと声かけて、やさしく気がるに日常の「あいさつ」を。○あふないことには、ちよつと注意を。○よくないことには、ひとこと、注意、よいお話を。この福祉年金の財源は、すべて国の負担となつていますが、拠出年金に比べて年金の金額も低く、また、扶養義務者の所得によつて支給を制限されるなど、支給の要件なども全体的にきびしくなつてい

老令福祉年金

6年間請求しないと権利がなくなる

福祉年金は、拠出年金に加入できない人や、年金を受取る資格のない(被保険者となつていない)人も、五年間請求しなかつたら、年金の権利がなくなつてしまいます。この老令福祉年金は、七〇才以上の人で、年額一萬五千六百円の年金が支給されます。しかし、請求できる権利が生まれてから、五年間請求しなかつたら、その権利がなくなつてしまいます。この老令福祉年金は、一級の障害程度の人に年額二萬四千円の年金が支給されます。「母子福祉年金」 母子家庭の母に年額一萬八千円の年

納税者の声を聞く

「納税者の声を聞く旬間」が、こども、十一月一日から十日間、全国いつせいに実施されました。申告納税制度のもとでは申告納税制度のもとでは申告納税と税務署との関係は、申告と税金をとるもの、とられるものという関係にあるのではありません。納税者は税法にしたがって、自ら正しい申告と納税をし、税務署はそれを補助する役割をこなす。具体的な施策の一つである納税者の方、税金につ

天王団地にゴミ焼却器

消費文化の進歩により、ゴミの発生量は急激に増加しています。その処理対策の行方については、日を追って深刻化してきています。そのおりに町では大字福島・天王団地に「公共住宅用B型(マツチ点火自然式)」というゴミ焼却器を一台(写真左・定価十三萬八千円)購入しました。この焼却器は、業務用のなかでも最も小さい型で、省スペースで高性能、二十戸から五十戸程度の世帯から出るゴミは処理でき、湿度四十パーセント以下で特殊なものをのぞいては、ほとんどが処理できることとす。

定例行政相談は毎月5日に
公署の苦情相談を希望する方は、毎月5日(土)の午後4時から6時、本庁舎1階の行政相談委員の事務所にて受け付けています。